


社団法人 長崎青年協会



社団法人
長崎青年協会 憲章

我々は会員の団結と
相互扶助の精神の基に
自己の建設と
会員の親睦を図り
もって地域社会の発展に
寄与する事を目的とする

— 1月の行事 —

- 市民駅伝参加 5日
- 理事会、仕事始め 6日
- 理事会 16日
- 定時例会 21日

— 2月の行事 —

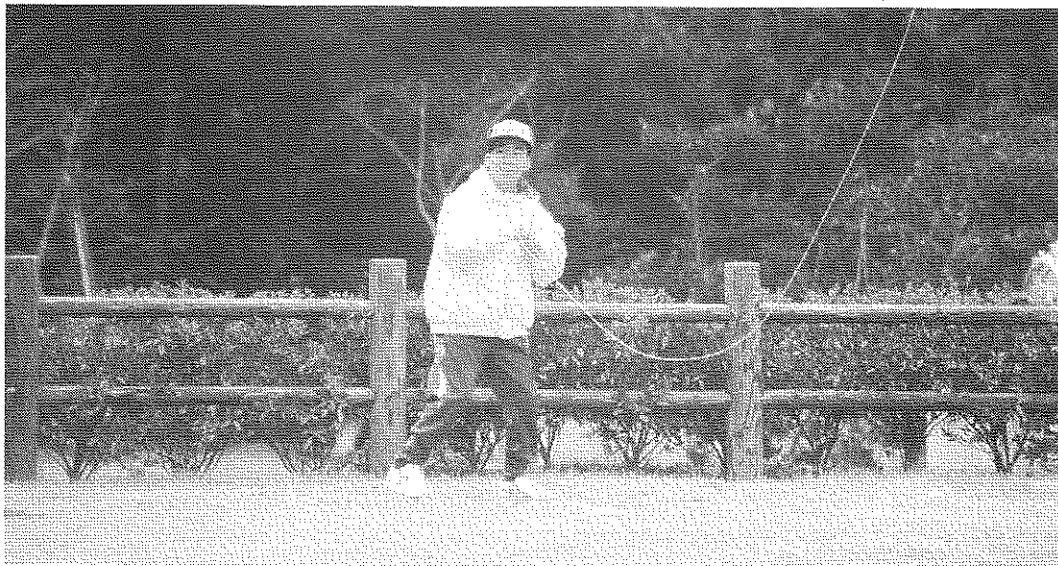
- 理事会 5日
- 理事会 17日
- 定時例会 21日

1

発行 / 長崎市魚の町7-7
(社)長崎青年協会
会長 田川 俊幸
編集 / 広報委員会
広報委員長 原 喜一郎

スローガン

「・・・らしく」



会長挨拶

会長 田川俊幸



新年明けましておめでとうございます。皆様には、すがすがしく新年をお迎えるの事と、お慶び申し上げます。

平成8年度も、皆様方のご協力で、各事業一つ一つを無事に消化してまいりました。年度当初に「自分らしさ」を大切にされた各事業展開を皆様にお願いましたが、十分に発揮された事と思います。個の想いを集り落とし込む事の難しさも、我々青年協会では、自分に熱いハートがあれば必ず周りの仲間が、援けてくれます。今年度もあと3ヵ月、その熱いハートを次年度に引き継ぎたいと思いますので、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

ここ数年来、他団体との共同事業に参加する機会が多くなりました。その中でも「青年協会らしさ」を忘れる事なく全力を尽くせば、きっと地域社会の発展に寄与出来るものと思います。来年の青年協会30周年に向けて今年1年、より積極的に協会活動に取り組んでいきましょう。

燃えろ！「年男」



もちつき大会

日時：12月8日(日)

場所：元宮公園(三和町)

12月8日(日)三和町元宮公園に於いて第4弾「もちつき大会」を開催しました。参加人数は青年協会スタッフも含めて230名もの参加がありました。この日は寒くはありましたが、もちつきとハタあげを企画してハンディを持つ方や子供達に、自然の中で交流を深めながら楽しんで戴きました。

第4弾までの事業に参加された方や青少年育成事業のみ参加された方々からの感想文を基に文集を2月位に作成致します。楽しみにしてして下さい。これまでに参加された皆様誠に有難うございました。そして、文集を最後に私共頑張って参りますのでよろしくお願い致します。 福祉委員長 清水 昭雄



車椅子での参加者の声

障害のある子供と健全者の子供が「ハタあげ」「もちつき」を一緒にやることによってすごく仲よくしていたみたいで、良かったと思いました。

私も車椅子でグラウンドへ行こうとしたら、初対面の地元の子供が親切に道をおしえてくれて、とてもうれしく思いました。

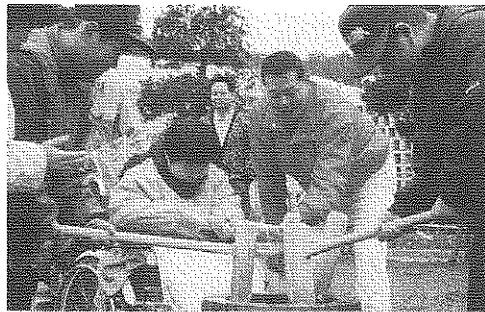
子供の目

学校で「人権週間」について教わりました。ハンディのある人にもやさしくしようということでした。今日、一緒にもちをついたりハタをつくったりしました。はじめ少しははずかしかったけど、だんだん慣れてきました。何か少しわかった気がします。



子供の気持

この日は、風が冷たくついているうちに寒さも忘れて夢中でつきました。もちを丸めるのも体験しましたが、つく方が楽しかったです。それと、作ったハタを風に乗せてひもを引き、工夫することで空高くあげられることは、わかりますが、この日は風もなく空高くどころかあがりもしませんでした。



母の目

青空の下のもちつきとハタ作りに幼い頃の記憶がよみ返り、なつかしさで一杯でした。きっとこの日の私は、母親の表情3割、子供の表情7割だったと思います。つきたてのもちと熱い豚汁に心も体も暖まった一日でした。



父の目

「何事にも体で覚えよ!」というのが僕の教育方針で子供にも、もちをつかせたかったので希望がかなって本当に良かったと思います。最初は大人の方と一緒にについて、タイミングが合っていなかったが、子供2人と一緒につくとスムーズに腰が入り、かけ声まで「1、2、3でトン」と、私も思わず「1、2、3いまだ!」とかけ声をあげていました。

全シリーズ参加者の声

土・日曜日の子供達とのふれあう過ごし方が問われる今日この頃、飛帆、おくんちの前夜祭、もちつき大会と、いろいろな方々と貴重な体験、楽しい一時を過ごせて大変うれしく思います。ありがとうございました。

コラム

この会報が手元に届くのは、1997年お正月だろうか。思えば昨年末、怒濤の如く暗いニュースが、各メディアを襲ったのは、記憶に新しい。今年こそは、明るいニュースで盛り上がりたいと心から思う。さて、ある12月の普通に寒い。普通の(日本では)もちつき。そんな風景のあるひとコマ。『こんなに素晴らしい笑顔を持った人々が、我々の周りにはたくさんいるんだ。』我々の行っている事業には、何一つ無駄なものはない。最近、自信をもってそう言える。いつか、世界中のニュースを、こんな笑顔で埋め尽くしたい。まずは皆様の家庭から始めてみないか!! AT HOME。 (広報/石田)

▶ 特集 ◀

正月料理・アラカルト

◎和の「鉄人」 新ヶ江直前が語る「長崎のおせち」

何といっても、雑煮の唐人菜。こればかりは長崎でしか使わない。何でも中国渡来の野菜で、今の田手原辺りで栽培し、それが広まったらしい。

ほかに長崎らしいといえば、百尋（ひゃくひろ＝鯨の腸の茹でたもの）と、鯪（アラ）の湯引き。特に百尋は専門店の特徴が強く、使用した糸で、どの店のものかわかったそうな…。

しかし、今ではどちらも高値になり、正月といえどなかなかお日にかからなくなった。長崎人として淋しいもんだと思っている。最後に長崎らしい「おせち」が食べてみたい方は、是非「銀鍋」で…と宣伝しておこう。

◎奥様「おせち」座談会

出席者 板倉和人夫人（沖縄出身＝ウチナンチュー）

地島 秀夫人（京都・山科＝京女）

松島健二夫人（東京・新宿育ち）

三瀬健司夫人（大阪・八尾＝河内娘）

《お雑煮》

地島「餅は丸うおすな。」

三瀬「せやね、関西からこっちは丸餅やね。」

松島「東京は四角の切り餅。だしは鰹と昆布で醤油味。ほうれん草は必須アイテムね。」

三瀬「関西は白味噌。甘口でっせ。うっところでは豆腐入れまんねん。」

地島「うちも白味噌でエビイモ、京人参とかの京野菜入れて、鰹節たんとかけて…」

三瀬「それ、宣伝ちゃうん？」

地島「ホンマどすえ。」

板倉「沖縄では豚のソーキ（スペアリブ）が入って、コッテリしてるわ。」…同「ホ～。」

《おせち料理》

松島「それほど変わらないけど長崎ではお刺身が白身でしょ？東京ではマグロ、カツオの赤身だったわ。」

地島「京ではお刺身食べしまへんえ。田作りとか梅の甘露煮とか、はんなりして美味しゅうおす。」

三瀬「大阪でもせや、刺身食べへん。かわりにタコ焼食べる。」

松島「ウッソー!!」

三瀬「ウソ、ウソ！そんなことありまっかいな（笑）。」

板倉「珍しいもんなら沖縄の『ヤギ汁』。塩仕立てのサッパリ味。それに香りづけにヨモギ入れる。ただ新鮮な山羊でないとダメなんで1頭つぶすの。もう儀式に近いわね。」

地島「なんや外国のお話みたいどすなア。」

《長崎の味、里の味》

板倉「嫁いで10数年、なんだかんだ言っても、もうこっち（板倉家）の味になったわね。」

松島「私はまだ2年だけど、わりと慣れるの早かったみたい。」

地島「うちでは毎年、お正月は京都で過ごしますえ。やから子供らもその味でそだちますやろなア。」

板倉「でも『我が家風沖縄料理』は伝えたいわねえ。ゴーヤ（にがうり）料理とか…」

松島「そうねえ。うちも娘が出来たら『江戸前の味』も伝えたいわ。」

三瀬「わたいらまだ新婚！早よ子供欲っしいわア。大阪の味にも誇りあるし、子供出来たら仕込んだるねん。せや、今年の雑煮は一発、大阪風でカマしたろかしらん。」

編集部注：インタビューを元に座談会風に脚色してみました。

'96忘年懇親会

日時：12月8日(日)

場所：銀鍋

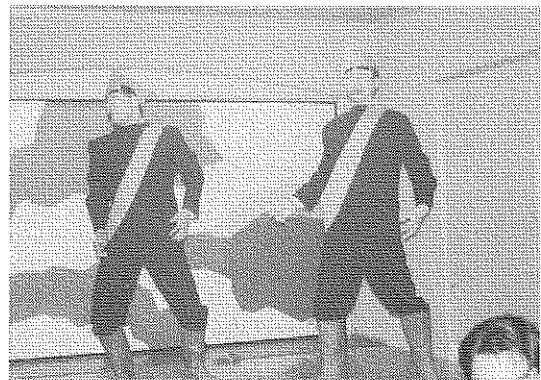
担当の会員交流委員会の懸命の努力によって（ステージも自作！）今年も盛大に忘年懇親会がとり行われました。

タキシードに身を包んだ司会の河野君の進行のもと、7:30から恒例「かくし芸大会」がスタート。3分間の時間制限の中、各委員会が珍芸・迷芸を披露。芸にうるさいH7年度卒業者の方々の審査の結果、チームワークと練習の成果で広報委員会の「チア・ガール」らしからぬ「チア・ボーイ」が栄冠を手にした。2位は僅差で役員Aチームの「なつかしの…」3位はMVPも獲得した梅田委員長率いる会員開発委員会。催し物は髪を筆に見立てての「…らしく」の文字を大書して見せました。

実に賑やかに出席者一人一人が日いっぱい楽しんだ「ザ・青年協会大忘年会」も次年度会長の川原哲也君の音頭で万歳三唱を行い幕を閉じました。



優勝：「チアボーイ」



準優勝：「なつかしの……」

群雄の声 =OB列伝=

井川 憲太郎OB



会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

我が日本経済もいまだ不透明は残ったままであり、特に今年度は財政赤字の改善の為に。政治的配慮の中で国民的要望である行政改革の実現がみないままの消費税等の税負担増が先行する中での97年の幕明けとなったところであります。

創立29周年に迎える青年協会としても創立以来の理念である我が郷土長崎の地域社会の発展の為に強い団結力と実行力をもって本年度も素晴らしい実績をつくられるものと確信しています。私自身も23才で入会し、40才で卒業するまでの17年間協会活動で社会人として又、経済人として多大なるトレーニングを積む事が出来たという実感が今年50才を迎える年令になり、しみじみと感じております。私は現在、建設資材の販売工事、不動産事業、輸入石材、タイルの販売を行う2つの会社を経営しておりますが、いずれをとりましても国際化の波の中で価格の国際水準への対処として、価格破壊の流れの中大変厳しい時代に直面しております。

会員の皆様もこういう時代背景の中、仕事と協会活動をどう両立させ、又、今後の活動をも展開していくかと、会員に課せられた問題は大きなものがあると思われまます。願わくば、過ぎし時代の恵まれすぎた飽食化した夢にきっぱりと別れを告げ、新しい時代に対応できる合理的価値感とバランスのとれた精神感覚をもち協会の創立以来伝統である優れた実行力をもって、新しい21世紀を迎える為の準備の第一歩を踏み出していただきたいと熱いエールを送ります。

翔ばたけ 同好会!!

NYA同好会

●ゴルフ同好会

迎春



幹事：倉田君、河野君

おめでとうございます。新春ゴルフ田川杯を1月中に行う様に予定しています。詳細はダイレクトメールにてお知らせいたします。多数のご参加を期待しています。

●バスケットボール同好会



監督：原君

スポーツ愛好家の皆様へお元気ですか。私はバスケットボールを枕にして寝正月ですが、寝つけないのは去年が少ない日程だったからなのだろうか・・・と夢から覚めました。

今年もよろしく願います。

「A HAPPY NEW YEAR。」

●ソフトボール&野球同好会

監督：岩満君

謹賀新年。伝統ある青年協会ソフトボール同好会も、近年軟式野球に力が入り、昨年は市民早朝野球ではBクラス入りを果たしましたが、惜しくも初戦敗退しCクラスへ逆戻り。しかし、別に加盟している球栄会リーグでは、総合成績で準優勝を勝ち取り、確実にチームは力をつけています。でも、少し気がかりなのはチームの平均年齢の高さです。数年前にくらべてロートルは、足腰の動きがだいぶ鈍くなってきた様です。若い会員の方の入部を期待しています。

今年もチーム一丸となり、明るく、楽しい同好会活動を行いますので、皆様、応援を宜しく願います。

●テニス同好会

賀正



幹事：桜井君、西口君

ここ数年テニス同好会は陰をひそめています。これも幹事の桜井、西口がいたらなかったと思います。2ヶ月に一度の開催予定でしたが、何とも今年度は、まだ1回しか行っていません。

今では、「テニス同好会はまたあつとや？」の声もチラホラ。今年は決意を新たに活動したいと思しますので皆様そっぽを向かず振るってご参加下さい。

●麻雀同好会



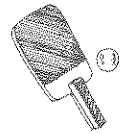
幹事：城谷君

新年明けましておめでとうございます。

麻雀同好会は昨年、田中潤介名誉会長の叱咤激励のもと、3回の大会を実施する事ができました。例年にないハイレベルな戦いの中、広瀬君の2連覇、船津OB（特別参加）の「V1」など様々な出来事がありました。（幹事として）「親睦」という目的をある程度達成できたと自負致しております。

さて、最後の闘牌は2月から3月に現役会員・OB会員入り乱れての『青年協会麻雀最強位決定戦』を予定致しておりますので、腕に自信のある方、親睦が目的な方、それぞれ奮ってご参加下さい。

●卓球同好会



幹事：藤井君

明けましておめでとうございます。

旧年は時間もなく、卓球大会も出来ませんでした。今年こそは必ず実施したいと思います。

今年度3月迄には試合を行います。試合型式は次の通りです。リーグ方式でBest 4まで決定。後は、トーナメント方式にて行う。（雨の日もプレー可能）お気軽にご参加下さい。

広報委員会 「年賀」

謹んで新春のお慶びを申し上げます

会員（OBの方）、御家族の皆様、新年を迎えいかがお過ごしでしょうか。田川丸の船出から早9ヶ月が過ぎました。我々広報委員会も一生懸命広報誌作りに精を出して来たつもりでしたが、多分にいたらない内容、誤字等あった事を深くお詫び申し上げます。年頭初の公約であった『アットホームな広報誌作り』をモットーに残り3ヶ月を励む所存であります。

これからも皆様には原稿依頼をお願いすると思っておりますが、どうぞご協力下さいませ。

平成9年元旦 広報委員会一同